



「第22回新潟技調講演会」が盛況に開催されました！



〈増門所長による挨拶〉



〈小濱グループ長による基調講演〉

令和3年12月9日（木）、新潟市民プラザ（NEXT21、6階）において「第22回新潟技調講演会」をコロナ禍の中、感染予防対策を徹底したうえで開催しました。

本講演会は、北陸の海・空のみなとづくりをわかりやすく伝え、市民や港湾関係者の皆様にみなとへの関心と理解を深めて頂くために毎年開催しており、今回は70名の方に参加頂きました。

増門所長の挨拶の後、港湾空港技術研究所 地震防災研究領域 耐震構造研究グループ グループ長 小濱英司様より「係留施設の耐震対策および地震後の使用可否判断」と題した基調講演が行われ、「港湾施設の地震時挙動、被災メカニズム解明」、「耐震性能照査手法、技術基準対応」、「港湾構造物の耐震対策」、「地震後の港湾係留施設の利用可否判断」などをご説明頂きました。

基調講演の後、事務所業務報告として、大島係長から「水理模型実験による輪島港防波堤の改良検討について」、市川技官から「大型浚渫兼油回収船「白山」への改良型投げ込み式油回収器の搭載について」と題した報告を行いました。

また、昨年に引き続き、全国土木施工管理技士会連合会で認定されたCPDS学習プログラムとするなど、盛況に開催することが出来ました。



〈技調事務所からの報告〉



〈会場の様子〉



〈質問の様子〉